

2023年度 日本酒ラベルデザインプロジェクトレポート

【 担当教員 】

学部・学科・専攻	職名	氏名
代表者：芸術学部デザイン工芸学科視覚造形分野	准教授	中村圭
芸術学部デザイン工芸学科視覚造形分野	教授	納島正弘

【 プロジェクトの概要 】

二十歳に向けて、酒蔵体験やデザインコンペなどを企画する「ハタチの縁会」KANPAI チーム（代表：株式会社サタケ広報部・大橋奈央）と協働し、酒蔵見学の現地調査を踏まえて、デザインの企画立案を PBL で行った。

完成したラベルデザインは、「ハタチの縁会」KANPAI チームが主催するデザインコンペに応募し、7 案が採用された。実際の酒蔵関係者や印刷会社とのコミュニケーションを通じて、実践的なデザインプロジェクトに取り組んだ。



【プロジェクトでの成果等】



広島県の 7 つの酒蔵の酒瓶 1 つずつに、学生のデザインしたラベルが貼られ、広島市内酒店で、一般に販売された（本数限定）。



広島ピースウィングのオープニング日（2024年2月10日）に、振る舞い酒の一部として提供された。また、デザインを担当した学生本人が、来場者に振る舞い酒を振る舞った。

学生たちは、日本酒のラベルデザインを通じて、地域の食文化とその担い手の方々のことを学んだ上で、専門であるグラフィックデザインを通じて、地域の魅力を一般に向けて発信することができた。